

努力はたしざん

新学期が始まり、2ヶ月が過ぎました。校庭からは元気な子どもたちの歓声と楽しそうに活動している姿を目にすることができます。

さて、ご家庭でのお子様の様子はいかがでしょうか。朝は元気に起きて、朝ごはんを食べて「いただきます」という声が響いていますか。

私は中学校での勤務が長かったこともあり、小学校ではどんなことに注意して学校を築いていったら良いかわからないまま、いろんな書物やインターネットなどで勉強していました。ふと次のような言葉に巡りあうことができました。その言葉は「努力はたしざん」というものです。1年間のスタート時において、一人ひとりに応じた学習・生活の目標を立て、その目標に向かい努力を積み重ねていくことで、努力がたしざんのようにだんだん大きくふくらんでいくという話です。

ちなみに私の目標は田ノ口小学校を笑顔あふれる学校、活気のある学校にすることです。ぜひ、ご家庭でも「努力はたしざん」を話題にさせていただき、お子様の目標への取り組みの活力になればと願っています。

偶然にも1年生の研究授業は・・・

私達教員は全員、すべての子どもたちに、わかりやすい授業を実現することを目的に研究授業というものをを行います。今日5月31日の授業は、1年生の「あわせていくつ ふえるといくつ」という題材で、足し算の意味と和が10以内の計算の仕方を考え理解するというものでした。1年生みんながこの時間、理解しよう、学ぼうと努力している姿がわかりました。今している努力はきっと大きな結果を生むものと思います。

大リーグで大記録を打ち立てて活躍しているイチローの言葉に「小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行きたければひとつの道だと思っています。」というのがあります。あのイチローでさえ、ちいさな努力を大切にしています。

少しずつ田ノ口小学校が前進することを目指して努力していきたい。そんな気持ちになることのできる言葉です。



6年生の授業に行きました

中平巖先生の代わりに6年生の授業に行きました。5校時目の「外国語の学習」の時間と算数のテストの監督です。「外国語の学習」の時間ではALTのローラさんと一緒に英語の学習を行いました。活発な女子に、ものわりの良いやさしい男子。そんな良い雰囲気の中で学習が進みました。その中で、一発ギャグやきれいな歌声を聞かせてくれた天晴くんと昂矢くん。男子もなかなか・・・負けていませんでした。

うってかわって、6校時は算数のテストです。みんな真剣そのもの物音すら聞こえませぬ。さすが6年生。



気になります

きちんといるんなことのできる田ノ口小学校の子どもたち。特に作業は汗をかくのもいわず、全力でやろうとします。本当に感心します。

一方、気になることもあります。「忘れ物が多い」という言葉を職員室で聞きます。

学習などに必要なものを忘れるということは本人にとってマイナスになります。でも私は、それ以上に次のようなことが気にかかるのです。

「〇月〇日までに提出してください。」「給食のマスクは忘れずに持ってきてください。」「はい」学校ではよく耳にする言葉です。このやり取りは担任や担当の先生と交わした「約束」だと思うのです。忘れ物をすると自分が困るから・・・そのことも真理ですが、私は人との人が交わした「約束」を破ってしまうのが悲しいと思います。

小さな「約束」ですが、しっかり守れるいつもの田ノ口小学校の子どもにもどって欲しいと思います。



「田ノ口の子ども」「学校だより」は田ノ口小学校のホームページからご覧いただくとカラー版で見ることができます。

<http://www.kochinet.ed.jp/tanokuchi-e/>